



三菱ガス化学株式会社

平成 23 年 2 月 22 日

MXDA の設備能力増強について

～2015 年を目標に、世界 3 拠点年産 100,000 トン体制に～

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：酒井和夫、以下「MGC」）は今春、水島工場（岡山県倉敷市）にある MXDA 製造設備のボトルネック解消工事を行います。これにより当設備の年間製造能力は 5,000 トン増の 25,000 トン、当社全体では計 55,000 トンになります。本工事は定修工事に合わせて行い、2011 年 3 月上旬までに完了する予定です。

また MXDA の誘導品である 1,3-BAC および「ガスカミン®」についても、今春、設備のボトルネック解消工事を行い、製造能力を増強いたします。

MXDA はエポキシ樹脂硬化剤、ポリアミド（MX ナイロン）、イソシアネートなどに使われています。いずれの用途も世界的に需要が好調で、MXDA は今後、年率 10%を超える需要の伸びが見込まれます。MGC では拡大を続ける市場に MXDA を安定的かつ確実に供給するため、需要動向を見ながら国内外の製造体制を強化します。国内においては 2013 年を目途に水島工場の設備能力をさらに 5,000 トン増強し、年産 30,000 トンに引き上げます。また海外では 2015 年を目標に、需要地の北米または欧州で年産 40,000 トン規模の設備を新設・稼働させる計画です。これにより、世界 3 拠点年産 100,000 トンの製造体制が整います。

MGC はこれらの取り組みを通して、当社が誇るメタキシレン事業の一層の基盤強化を図ってまいります。

【MXDA および MXDA 誘導品について】

MXDA (メタキシレンジアミン)

メタキシレン誘導品のひとつ。エポキシ樹脂硬化剤、ポリアミド(MX ナイロン)、イソシアネートなどに使われています。

MXナイロン

MXDA の主要な誘導品。優れたガスバリア性が評価されて食品包装向けフィルム・シートや PET ボトルなどの用途で需要が伸びています。また、MXナイロンをガラス繊維などで強化した成型材料「レニー®」は優れた強度・高弾性率を誇り、最先端の金属代替樹脂として自動車部品、電気・電子部品をはじめとする幅広い分野で利用されています。

1,3-BAC (1,3-ビスアミノメチルシクロヘキサン)

MXDA 誘導品のひとつ。用途はエポキシ樹脂硬化剤、有機合成中間原料など。

ガスカミン®

MXDA 誘導品のひとつ。用途はエポキシ樹脂硬化剤、ウレタン樹脂硬化剤など。

【MXDA の設備増強・新設計画】

	2011 年 2 月現在	2011 年 3 月	2013 年頃	2015 年頃
水島工場	20,000 トン	25,000 トン	30,000 トン	30,000 トン
新潟工場	30,000 トン	30,000 トン	30,000 トン	30,000 トン
新設 (海外)	-	-	-	40,000 トン
計	50,000 トン	55,000 トン	60,000 トン	100,000 トン

<本件に関するお問い合わせ先>

広報 I R 部 TEL : 03-3283-5041